

におい嗅ぎGC-MSによる臭気成分分析

概要

製品から発生する化学物質を推定するためにガスクロマトグラフ質量分析計 (GC/MS) が使用されるが、得られたピークが「におい成分」というわけでない。

におい嗅ぎGCMSでは、GC内のカラム分岐後に、におい嗅ぎポートと質量分析計 (MS) 側に分岐し、人が直接においを嗅いで、「におう物質」を定性することができる。



◎ 7250 GC/Q-TOF

高分解能の精密質量データ

◎ FPD検出器 (炎光光度検出器)

主に硫黄化合物の検出に使用

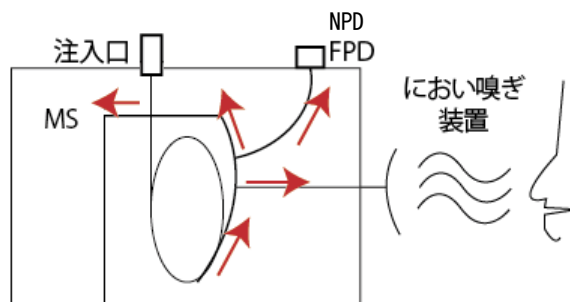
◎ NPD検出器 (窒素リン検出器)

窒素とリン化合物の検出に使用

◎ AromaOffice & 自社データベース

香気成分データベース

自社データベース250種以上



におい嗅ぎGC/MSの概要



SPME



TD捕集管



マイクロチャンバー

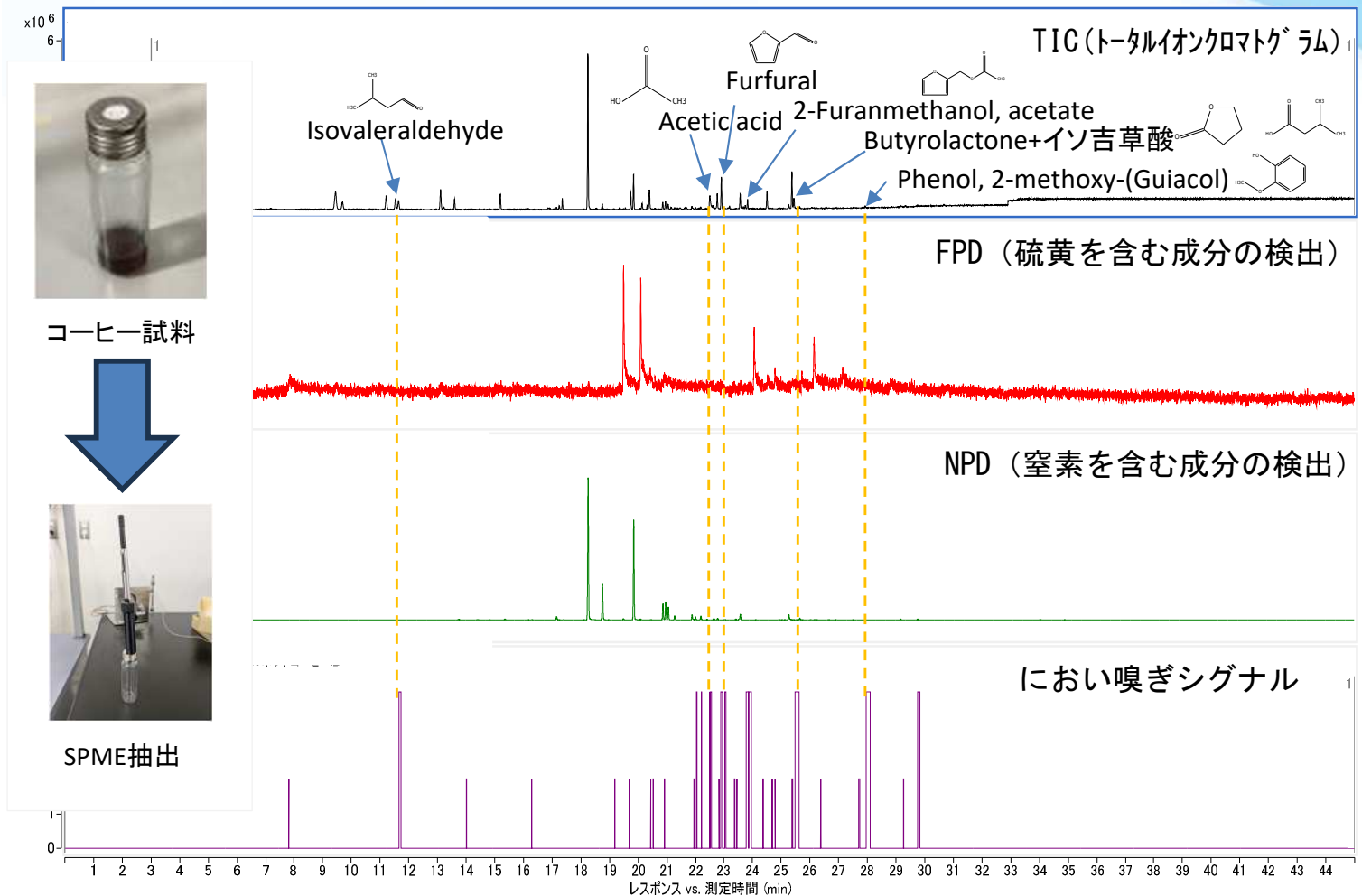


10L~2000Lバッグ

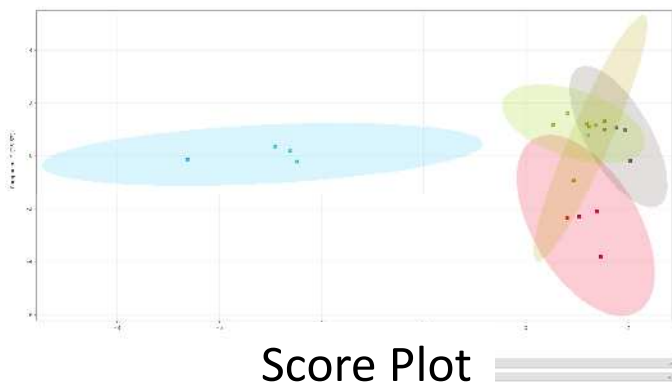


パッシュサンプラー
(TF-SPME)

測定例



コーヒー試料の測定結果



- におい嗅ぎの結果、コーヒーのにおいに寄与している成分が判明した。
- また、複数コーヒー試料を測定しMPP (Mass Profiler Professional) 解析によってScore PlotやLoading Plotを示すこともできる。

試験条件や費用、稼働状況等お気軽にお問い合わせください。



TTC 一般財団法人 東海技術センター

《ハイパーラボ 品質評価事業部》
 〒489-0977 愛知県瀬戸市坂上町420番地1
 Tel 0561-85-0384 Fax 0561-56-1590
hinshitsu@zttc.or.jp
<https://www.ttc-web.com>